

**ミッション**
**少子高齢化社会の課題に挑戦し、地域社会を明るく元気にする**

新型コロナウイルス感染症に罹患された方々、また自然災害に遭われた全ての方々に心よりお見舞い申し上げます。

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

東京証券取引所ジャスダック市場への上場というスタートラインに立たせていただいてから1年が経過いたしました。皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

昨年度はコロナ禍において厚生労働省の方針に沿い感染防止対策をとり、全社一丸となり目標値を修正することなく全事業継続することができました。またM&A・事業譲受、オンライン服薬指導、ホスピス事業立ち上げ、公立保育園の指定管理等、着々と新たな計画を実行した一年となりました。

今年度は社会環境の変化の中で、大手デベロッパーとの協力体制により地域包括ケアシステムそのものを実現し、人々が安心して暮らせる「まちづくり」に積極投資し事業の拡大と成長を図ってまいります。そして皆様からの信頼を得、喜んでいただけるよう企業価値を高めるべく邁進する所存です。

更には、迅速で効率的な経営組織の形成、事業領域拡大を目指し持株会社移行へ駒を進めてまいります。

わが国の高齢化対策と子育て支援という2大政府方針を軸に社会や時代の変化にいち早く対応し人々の生活を支援していく所存です。

皆様におかれましては今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。


 代表取締役社長  
**青木 勇**
**ミアヘルサの描く未来**

地域包括ケアシステムを推進し、  
健康・安心・絆のライフラインを構築する


**事業内容**

新規事業所開拓をはじめ、少子高齢化社会の課題である「高齢化対策」と「子育て支援」の政府方針に取り組み、地域の皆様に明るく元気にすることを使命としている会社です。

**医薬事業**

「かかりつけ薬局」として地域住民の皆様の健康をトータルでサポートしています。また在宅やオンラインでの服薬指導やHIT（在宅輸液療法）事業にも力を入れています。

**介護事業**

住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体で提供し、身体機能の維持向上はもとより、生活機能の向上を目指した「自立支援型・改善型ケア」を推進しています。また、地域の交流を通し、人材育成も行っています。

**保育事業**

子ども主体の協働的な学びの保育園を目指し、安全だけでなく体力・知力・思いやりを育んだ、より質の高い子育て支援に取り組んでいます。

**食品事業**

健康な体づくりは食事から。常に時代の変化とニーズに対応し、幼児から高齢者の方々まで各々の年代に合った美味しい食材をご提供しています。



4つの事業で地域を支える

## トピックス



### 「ミアヘルサ グループホーム新座」がオープン

2021年3月、埼玉県新座市に「ミアヘルサ グループホーム新座」を開設しました。当社は現在、同市において、サービス付き高齢者向け住宅「オアシス」や高い稼働率で地域からも選ばれているデイサービス、24時間対応の定期巡回サービス、ケアマネジャー事業所等を運営しています。今後益々需要が高まる認知症ケア専門の入居施設を新たに展開し、当社が運営する日生薬局や地域住民の方々と連携を図ることで、さらなる地域包括ケアシステムの実現を目指してまいります。



### 新規保育園開園(奥戸、水元、西久保)

2021年4月、各地域での保育ニーズの高まりを受けて、葛飾区奥戸、葛飾区水元、武蔵野市西久保に認可保育園3園を開園しました。認可保育園は、人員・施設基準等が厳しく保育の質が高いため効率的な集客が可能となります。現在、当社では新規3園を含め、東京24園、神奈川6園、千葉4園の合計34園を運営しています(2020年4月比+8園)。  
※指定管理を含む



### 薬局全拠点にQRコード決済・バーコード決済システムを導入

新型コロナウイルス感染拡大防止策の1つとして、また、キャッシュレス化にともなう利便性の向上を目的として、全店舗でコード決済システムを導入しました。「PayPay」・「LINE Pay」・「メルペイ」など8種類の決済サービスがご利用いただけます。



### 足立区立新田学園にて食育授業を実施

足立区立新田学園にて、小松菜生産者「宇佐美農園」様とミアヘルサ食品との合同食育授業を実施しました。普段、交流することのない児童たちへ、食事ができるまでの人と人との関わり合いやその大切さを講義しました。



## 中期経営計画 ～ 中長期展開の加速に向けての基盤整備 ～

基本方針

首都圏に人々の生涯を支える企業として信頼のミアヘルサ・ブランドを確立する

市場機会の活用

### 少子高齢化社会

- 2040年の高齢者人口の拡大
- 2025年認知症患者数の増加
- 首都圏の女性の就業率の向上

差別化策

### 4事業の機能連携によるシナジー

医薬・介護・保育・食品の4事業の機能連携によるシナジーを差別化とし地域包括ケアシステムを実現

社会的ニーズ

### 地域包括ケアシステムの推進

高齢化社会に対する政府方針であり都市開発や街づくりの条件となっている「地域包括ケアシステム」を推進する

市場機会を活かし、事業部連携によるシナジーを差別化として、地域包括ケアシステムを推進する

売上高

● 2024年3月期 **200**億円  
● 2021年3月期 **167**億円

経常利益率

● 2024年3月期 **3%**  
● 2021年3月期 **2.0%**

### 業績の伸長

新規開発(施設/事業)とM&Aによる売上増、既存事業の利益率の改善

### 企業価値向上

組織力、人材育成、ESG、株価

## 今後の成長戦略

### 積極的なM&Aと新規開発

少子高齢化社会という市場機会を活かし、4事業部の機能連携によるシナジーを差別化として、都市開発の考え方である地域包括ケアシステムという政府方針を実現し、成長展開を図ってまいります。

### 緩和ケアの増床、入居率の向上

認知症等の市場ニーズに応え、グループホームを展開するとともに、ターミナルケアのノウハウを活かしてホスピス事業を強化してまいります。また、入居率の向上に取り組むことで収益構造の変革を図ります。

### 加算対象の強化、オンライン服薬指導の普及

門前薬局への出店とともに、駅前立地の医療モールの開発に取り組み、かかりつけ薬局などの機能強化とサービスの拡充に注力してまいります。またICT体制強化により、お客様の利便性や業務効率の向上を図ります。

### 新園の安定開設、公立保育園の指定管理

認可保育園の安定開設に取り組みます。また今後の待機児童の減少に備えて、4月からスタートした公立保育園の指定管理の受託運営と開発に取り組むとともに、保育士の採用や育成体制を強化し、さらに保育の質を高め選ばれる園を目指します。

## 持株会社体制への移行

当社グループは、今後も持続的な成長を続けるため、2021年10月に「ミアヘルサホールディングス株式会社」を設立し、持株会社体制に移行いたします。



## 持株会社体制へ移行する目的

当社グループが純粋持株会社体制へ移行する目的は以下のとおりです。

- 戦略的提携の加速と新たな事業機会創出**

純粋持株会社体制へ移行することにより、M&Aを含む他社との戦略的提携や新たな事業機会創出をフレキシブルかつ迅速に実現することが可能と考えております。
- グループ経営・監督と業務執行の分離**

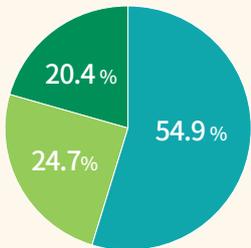
純粋持株会社体制へ移行することにより、グループ経営・監督を純粋持株会社が担い、事業における業務執行を事業会社が担う役割分担が明確になり、ガバナンス体制の一層の強化と業務執行の迅速化・効率化の両立につながると考えております。
- グループ経営人材の育成**

有用な人材については、既存事業や特定部門における経験のみならず、持株会社傘下の事業会社で経営経験を積ませることで、次世代のグループ経営人材として早期育成を図ることができ、ひいては当社グループの持続的な企業価値向上につながるものと考えております。



売上高 <b>16,754</b> 百万円	営業利益 <b>322</b> 百万円	経常利益 <b>340</b> 百万円	親会社株主に帰属する当期純利益 <b>478</b> 百万円
--------------------------	------------------------	------------------------	-----------------------------------

セグメント別売上高構成比

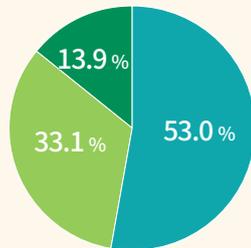


医療	8,730百万円
保育	3,926百万円
介護	3,237百万円

医療事業の構成比は50%超を占めておりますが、保育事業、介護事業の成長により近い将来50%を切ると予測されます。今後、保育の成長とともに、介護の市場環境とサービス内容が整いつつあり成長が期待されます。

※報告セグメント3事業のみ。その他、調整額を除く。

セグメント別営業利益構成比



医療	568百万円 (利益率6.5%)
保育	355百万円 (利益率9.1%)
介護	149百万円 (利益率4.6%)

保育事業を成長ドライバーとし積極的な投資を行ってきました。また、介護事業の展開しているグループホーム、ホスピスは社会的ニーズも高く、収益率も高いことから強化により収益拡大を図ってまいります。

### 医療事業

コロナ禍による医療機関の外来抑制や処方日数の長期化に伴い、顧客1人当たりの来店回数は減少したものの処方箋単価は上昇しました。引き続きサービスの充実による加算の確保を推進しています。

### 介護事業

新型コロナウイルスへの懸念による利用者の利用自粛が一部あるも、その影響を最小限に抑えました。さらに、事業譲受やホスピス事業の開始など、更なるサービス拡大を行っています。

### 保育事業

毎年継続的に認可保育園を開園し、東京都、千葉県、神奈川県で2021年3月末現在30園、総勢1,750名の保育園児をお預かりしており、待機児童問題の解消に貢献しながら売上・利益を伸ばしています。

(単位:百万円)	2020年3月期 (ご参考)	2021年3月期	2022年3月期
	通期	通期	通期 (予想)
売上高	16,686	16,754	17,708
営業利益	352	322	267
経常利益	337	340	280
親会社株主に帰属する当期純利益	435	478	372
総資産	8,848	10,069	—
純資産	2,515	2,975	—
1株当たり当期純利益	222.42円	194.40円	150.71円
自己資本比率	28.4%	29.6%	—

※2021年3月期より連結財務諸表を作成しております。2020年3月期はご参考として単体の数値を掲載しております。

### 配当について

当社グループは、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題の一つとしており、成長を確保するため、将来の事業展開と企業体質の強化のための内部留保も考慮しつつ、継続的かつ安定的な配当(増配)を継続していくことを基本方針としております。

当期の中間配当金につきましては、1株当たり10円を実施させていただきました。また、期末配当金につきましては、1株当たり15円とし、これにより年間配当金は、1株当たり合計25円となります。なお、次期は30円に増配となる予定です。

2021年3月期	2022年3月期 (予想)
1株当たり配当金	1株当たり配当金
<b>25円</b> (中間:10円、期末:15円)	<b>30円</b> (中間:13円、期末:17円)

### 株主メモ

証券コード	7688	株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ	郵便物送付先 および電話照会先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話: 0120-288-324 (フリーダイヤル)
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	公告掲載方法	電子公告により行います。やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
定時株主総会	毎年6月	公告掲載URL	<a href="https://www.merhalsa.jp/">https://www.merhalsa.jp/</a>
基準日	毎年3月31日		
剰余金の配当の基準日	毎年9月30日、3月31日		
1単元の株式数	100株		



本店所在地 〒162-0054 東京都新宿区河田町3番10号  
 電話番号 03-3341-2421 (代表)  
 お問い合わせ contact-ir@merhalsa.jp

